

勝浦市民の健康の現状と課題

高齢化率は県内ワースト4位

令和4年4月1日時点の勝浦市の人口は、16203人、65歳以上の人口は7393名で高齢化率は45.6%、千葉県内の高齢化率ではワースト4位にあたる。

県内のワースト順位1位：御宿町、2位：鋸南町、3位：南房総市、4位：勝浦市の順。

出生数は、令和3年度：44人、令和2年度：56人、令和元年度：49人、平成30年度：52人、平成29年度：73人と減少傾向が著しい。

勝浦市の平均寿命をみると、男性80.3歳（国平均80.8歳、県平均81.0歳）、女性86.7歳（国平均87.0歳、県平均86.9歳）で男女ともに国や県の平均寿命よりやや短い。

平均寿命と健康寿命の差を見ると、男性8.84年、女性12.35年（出典厚労省）となっている。

主な死因は *がん（47.3%）、*心臓病（32.1%）、*脳疾患（13.9%）、*腎不全（4.8%）、*自殺（1.8%）の順となり腎不全で亡くなった方は、県内と比較して1.2倍以上高くなっている。

勝浦市の令和4年度の集団健診（40歳～75歳以下）の結果では、健診対象者は4091人、受診者は940人（受診率22.9%）、40代71人、50代131人、60代360人、70代378人、そのうち、受診勧奨633人、保健指導297人、異常なし10人であった。血圧・糖・コレステロールの内服をしている人は、血圧の薬内服312人（33.1%）、糖の薬内服67人（7.1%）、コレステロールの薬内服229人（24.3%）となっている。

勝浦市の医療費

勝浦市の疾病別入院医療費の順位と割合は、1位 循環器19.6%（不整脈・心臓弁膜症・脳梗塞・心筋梗塞）、2位 新生物16.4%（膀胱がん・食道がん・前立腺がん・悪性リンパ腫・胃がん）、3位 精

神10.9%（総合失調症・うつ病）、4位 神経10.9%（てんかん・その他の神経系の疾患・パーキンソン病）の順となり入院費は心疾患・脳血管疾患の占める割合が高い。

外来医療費では、1位 循環器15.0%（不整脈・心臓弁膜症・高血圧疾患・狭心症）、2位 内分泌14.6%（糖尿病・脂質異常症・痛風・高尿酸血症）、3位 新生物（前立腺がん・食道がん・膀胱がん・肺がん・胃がん）、4位 尿路性器12.1%（腎不全「透析あり・なし」・前立腺肥大症）の順となり糖尿病・高血圧・脂質異常症で受診する人が多く、心疾患で入院するリスクも高くなっている。

勝浦市民1人当たりの年間医療費は

勝浦市の市民1人当たりの医療費を見てみると、入院の場合 114,683円（千葉県98,522円）、県内ワースト7位。外来は、176,576円（千葉県155,299円）県内ワースト8位である。これを男女別でみると、男性 *外来医療費は県並み、*慢性腎不全（透析あり）が高い、*糖尿病腎症は低い。従って糖尿病をコントロールできていない人が一定数以上いる可能性がある。病院に行ったときには、すでに重症化している。

女性 *外来医療費は糖尿病が高い、*狭心症や脳梗塞が高い、*慢性腎不全・糖尿病性腎不全は低い。

糖尿病患者はコントロールできている。

（資料出典：勝浦市 市民課・健康管理係）

河津ほころぶ



立春を過ぎ官軍塚周辺の河津桜がほころび、春間近と告げている。勝浦BIGひな祭りの頃には満開を迎える。（2月6日撮影）